

調査速報

メキシコ自動車市場月次統計（2017年2月）

消費マインド低迷で内需減速。米国からの中古車輸入抑制の余地が小さいことも新車需要掘り起こしを困難にさせる

主任研究員

深尾 三四郎

045-225-2375

fukao@yokohama-ri.co.jp

要約

- 17年2月メキシコ自動車生産台数（季調値）は前月比0.6%増の年率365万台。
- 輸出台数の堅調な伸びが増産の背景。しかし、主要輸出先の米国新車市場の減速で先行き楽観できず。
- 国内販売は減少基調。米国からの中古車輸入抑制の余地が小さいこともあり、国内販売回復は期待薄。

米国向け輸出減少リスクに加え、国内需要の減退がメキシコ自動車生産の足かせとなろう

メキシコ自動車工業会（Asociación Mexicana de la Industria Automotriz）が発表した2017年2月の総生産台数は、前年同月比11.1%増と9か月連続で前年超えし、季節調整済年率換算値（当社試算、以下SAAR）は前月比0.6%増の365万台と増加した。SAARの3か月後方移動平均値でみたトレンドは昨年後半から一進一退の動きが続いており、メキシコ自動車生産は浮揚感に欠ける展開が続いている（図表1）。

2月の総輸出台数は前年同月比9.7%増加し、輸出台数のSAARも前月比2.5%増の302万台と、16暦年実績の277万台を上回る水準で堅調と言えよう（図表2）。

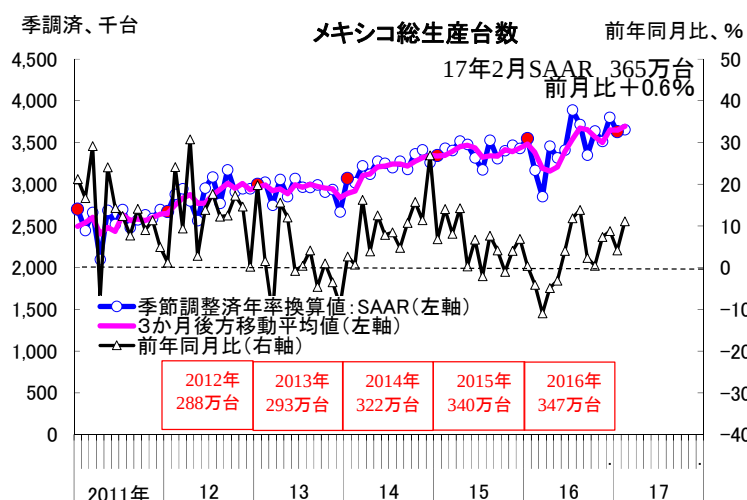
しかし、主要輸出先の米国で新車需要が減速していることから、今後のメキシコの自動車輸出については引き続き楽観は禁物である。米国の2月の新車販売台数（SAAR）は前月比2.5%減の1,760万台（弊社試算）と減少した。大手自動車メーカーの販売奨励金が高水準で推移し、競争激化を背景に需要の脆弱性が強まっていることから、全体需要が現在の水準から切り上がると想定するのは困難である（図表3）。

加えて、メキシコの国内販売が減速していることにも要警戒である。メキシコの2月の総販売台数は前年同月比6.5%増と34か月連続で前年超えとなり、SAARも前月比1.2%増の154万台と増加した（図表4）。もっとも、17年に入ってから、消費者信頼感指数が過去最低水準にまで落ち込んでいるように、消費マインドが急速に冷え込んでいることが内需減退に繋がっていると考えられる（図表5）。足元の国内販売のSAARは16暦年実績の160万台を下回っている上に、3か月後方移動平均値でみる基調は下向いており、減少トレンドを形成しつつある。

先行き国内販売が再び切り上がってくると期待するのは、現状、2つの理由から難しいと考える。第1に、米新政権誕生によるメキシコ景気の不透明感の高まりが消費マインドを減退させるという状況が、早期に改善するとは考えられないこと。第2に、ここ数年間、メキシコ政府が米国からの中古車輸入を抑制したことが国内販売の増加に寄与していたが（図表6）、その中古車輸入台数は現在すでに極めて低い水準にあり、中古車輸入の更なる抑制で内需を喚起させるという余地が小さくなっているからだ（図表7）。

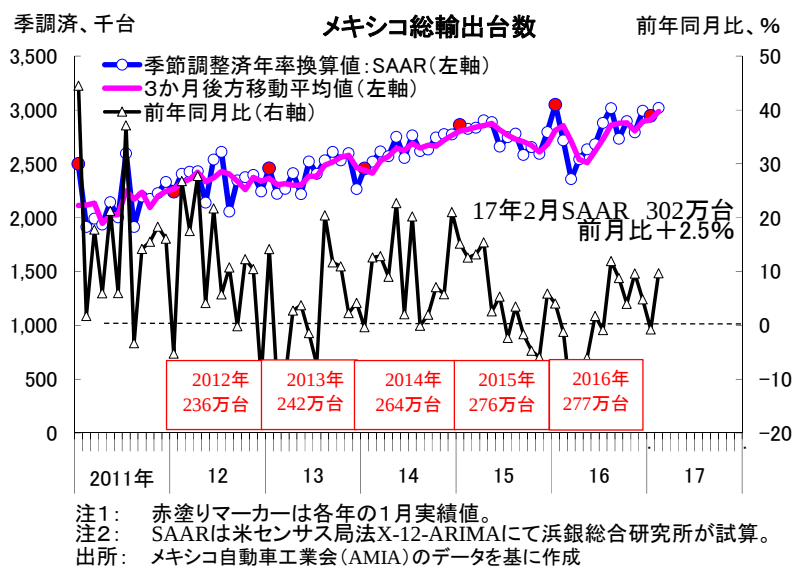
米国向け輸出減少のリスクに、内需減退が合わさる形で、メキシコ自動車生産に対する逆風は今後強まっていくと予想する。

図表1 2月生産台数（SAAR）は増加も浮揚感に欠く展開

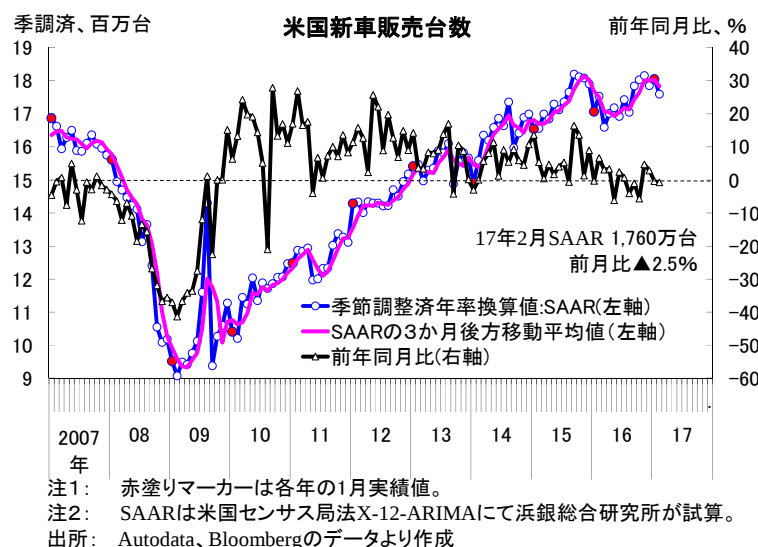


注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。
 出所: メキシコ自動車工業会（AMIA）のデータを基に作成

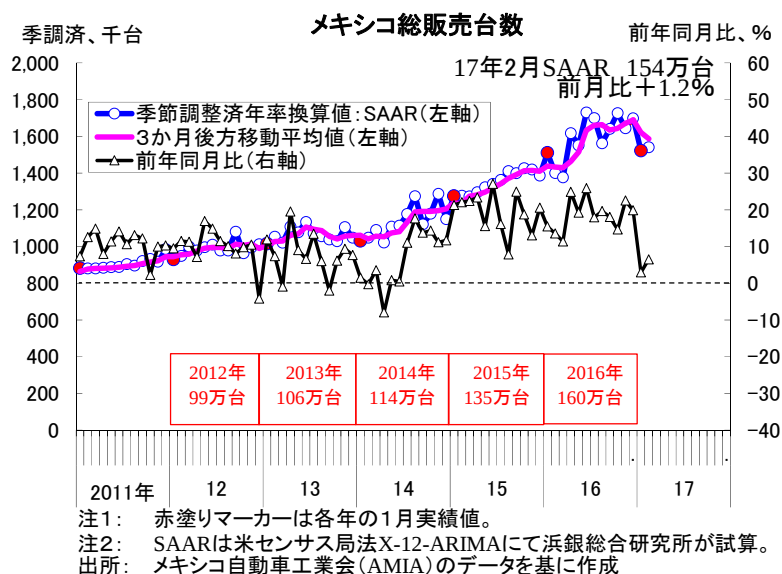
図表2 2月輸出台数（SAAR）は増加



図表3 米国新車販売は減速

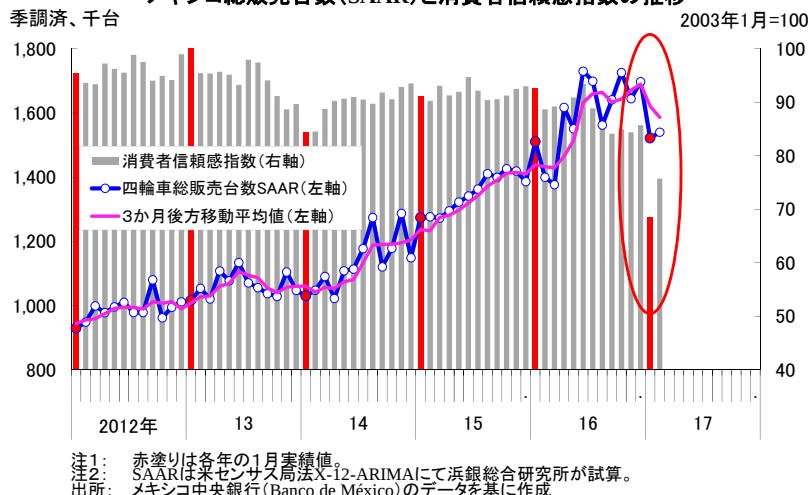


図表4 メキシコ国内販売は減少トレンドを形成しつつある

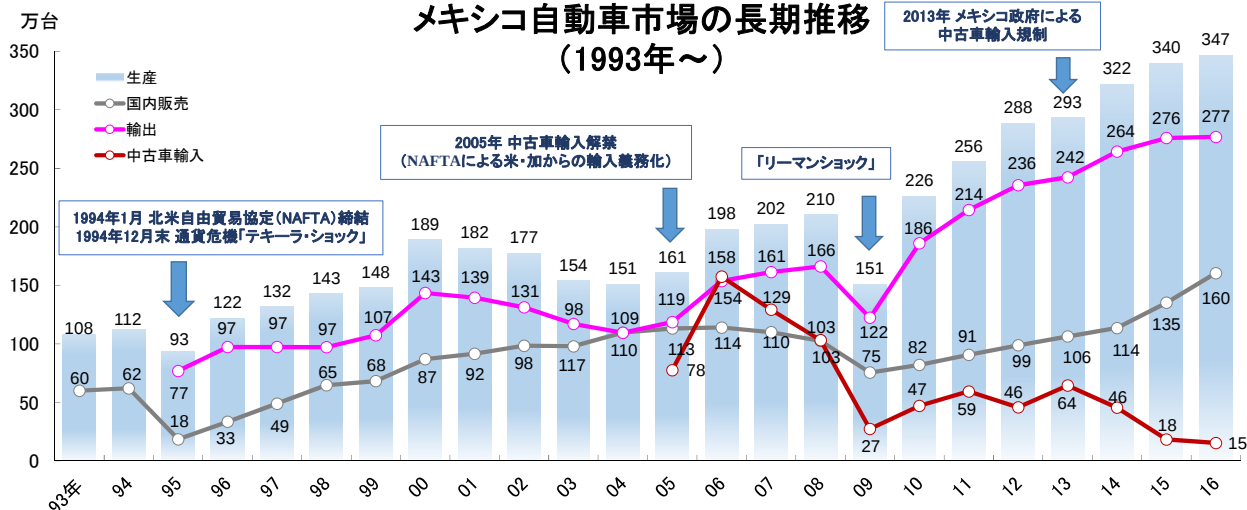


図表5 消費ムードの減退が内需の足かせに

メキシコ総販売台数(SAAR)と消費者信頼感指数の推移

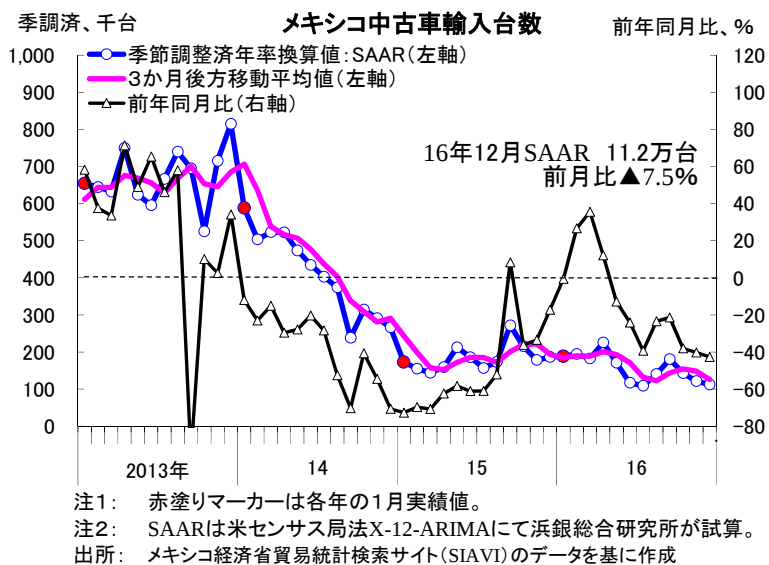


図表6 2014年以降は中古車輸入の抑制がメキシコ内需拡大に貢献

メキシコ自動車市場の長期推移
(1993年～)

出所: メキシコ自動車工業会(AMIA)及びメキシコ経済省貿易統計検索サイト(SIAVI)のデータを基に浜銀総合研究所が作成

図表7 足元の中古車輸入台数はすでに低い水準にあり、輸入抑制の余地が小さい



本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。